PR

松本城大解剖

11月10日は松本城の日

「国宝松本城を世界遺産に推進実行委員会は2021（令和3）年12月に、11月の日を「松本城の日」と定ました。11月10日は、明治初期に本丸と乗鞍岳が解体されかけたといわれる松本城天守を会場に、有志らが1873（明治6）年に開いた第1回松本博覧会の初日です。松本博覧会は大きな反響を呼び、会場となった天守は破壊から免れることができました。「松本城の日」制定を機に、市民の皆様の松本城への愛着が深まり、将来にわたり保存されるよう取り組んでいます。

松本城の秘密を地元大学生が徹底取材！

松本城は、現存12城のうち唯一の平城です。松本城の天守は、5重6階天守では日本最古のものです。山城と比較して守りが弱くなる点を補うための防備のほか、天守が戦国の世と泰平の世にまたがって築城されたことによる時代を反映した特徴を含んでいます。今回は、地元大学生・大学院生5人が記者となり、二人の専門家の案内のもと、松本城の秘密や魅力に迫りました。過去をさかのぼって当時に思いをはせてみてはいかがでしょうか。

監修・協力：松本市文化振興課、松本市教育委員会文化財課、松本市立博物館

重量1000トン!? 想像を超える工夫の連続

詳しく取材しました

西村さん（松本市出身）
清泉女学院大学 人間学部 2年

古い技法で積み上げられた石垣

松本城の大天守は、総重量1000トン。複合層状地の扇状部に位置し、湧水が多く地盤が軟弱なこの地に高層建築を築くために、石垣がずれたりしないための工夫が必要でした。ここで松本城の石垣では、「筏地（いかだじぎっこ）」とよばれる技法が使われています。筏地形とは、堀の底に松材の丸太を筏のように組み、その上に石を積み上げる技法です。これが昭和の大修理の際、辰巳附櫓と月見櫓の石垣の積み直しを行ったことから判明しました。この工夫により大天守は1000トンという重みがありながらも傾くことがなかったのです。

1000トンの重みに耐えるには

小林有也

泰平の世を象徴する月見櫓の存在

月見櫓の構造と魅力

月見櫓は、名前の通り月を楽しむために造られた開放的な建物です。内部に階を数へと16畳分の広さになります。また、天井は、船底天井と呼ばれる構造で、檜の材に柿渋が塗られています。周囲を囲む縁には朱色の漆が塗られ、華やかながら特徴的です。漆は気候や天候の影響を受けやすく、年に一度職人さんによって手直しが行われています。こうした細かな手入れが、本城の美しい姿を今に伝えているのです。

月見櫓の構造や特徴をすべさにそその開放感で、月見櫓は、舞戸（まいりど）（※）を取り払うことで三方が大きく開かれ、広々とした視界が確保されます。東から昇る月を眺めながら風流を楽しむひとときは、月見櫓ならではのいたくであったに違ありません。

※舞戸…櫓に設けられた引き違い板戸。取り外しが可能で、すべて外すと月見櫓は開放的な建物になる

月見櫓の歴史的背景

月見櫓は1634年頃、松本城主・松平直政によって増築されました。松平直政は徳川家康の孫で、3代将軍徳川家光の従兄弟にあたる人物です。この建物は、家光を松本城に迎える際の施設として造られたとされています。家光は諸々の事情で実際に来ることはなかったようです。戦うための施設であった天守と違い、辰巳附櫓と月見櫓には石垣（※）などの防御に備えた構造がありません。これは、江戸時代初期の平和な時代を反映しており、戦いが終わった泰平の時代にふさわしい建物といえます。

※石垣…石を積み上げて造った構造物。城の場合は、石垣の上に建物を建てるなどして使用する。石垣の表面は、石の大きさや形、積み方などによって、いくつかの種類に分けられる。

ここ必見！
鈴木さん（岩手県出身）
信州大学 経法学部 3年

さらに月見櫓が松本城の天守に付設された形で一体化している点も見逃せません。岡山県（※山県岡山市）や高松城（香川県高松市）にも月見櫓はありますが、天守と一体となっている例は松本城のみです。こうした構造の独自性が、松本城の月見櫓をより価値あるものにしています。松本城の月見櫓は、戦国時代の城郭とは異なる平和な時代の象徴として、独自の価値を持っています。実際に足を運んでみると、当時の様子を深く味わうことができます。

※山県岡山市…岡山県の旧市名。現在は、岡山市の一部。

秘密は地下にあり。土台を支えた柱とは？

土台支持柱とは

松本城の土台支持柱は、他の城ではほとんど見られない特別な構造で、天守を支えるための重要な要素です。昭和の大修理の際に発見され、松本城が築かれている地形的問題に対処するための工夫であったと思われます。

当時、松本城の天守台には、16本の柱（つば）材の柱を真で連結した木製のジャングルジムの様な構造体が埋め込まれていました。柱は長さ約5㍍、直径約40㌢と非常に大きく、天守台用の内に立てられた天守の重さを支える役割を果たしていました。天守は5つ重6階建てで総重量が約1000トンにも及びこれを支えるために工夫された特殊な設計でした。この柱は発掘時にすでに大部分が劣化していて、形を残していたのは一本の一部だけでした。その残存部分が現在、天守の一階に展示されています。

土台支持柱が必要だった理由

縁の下を支えています！
鈴木さん（岩手県出身）
信州大学 経法学部 3年

松本城が他の城とは異なり、このような独自の構造を必要としたのは、その地理的条件が背景にあります。松本城は国宝5城の中で唯一、「平城で、自然の地形を利用して防御する山城」とは異なります。城が建てられている場所は、女鳥羽川と薄川の扇状地の扇端に位置しており、水を得るには都合がよい半面、地盤が非常に軟弱であったそのため、この地に巨大な天守を建てるには強固な土台が不可欠でした。土台支持柱は、緩い地盤に対応するための工夫として導入されました。

当時、平地に石造りの城を建てるための工夫として、天守の重量を支えるための土台が珍しく、ましてや高層に石垣内に柱を設けるという挑戦でした。ゆえに、天守の重量を支えるための土台が珍しく、ましてや高層の台石垣内に柱を設けるという工法は、他の城には見られない特徴であり、松本城の独自性を際立たせています。

土台支持柱には、緩い地盤に建てられた城としての構造的な課題に対処するための構造的な工夫が導入されていたといえます。

外から見えない階がある？ 松本城天守の内部に迫る

窓がない天守3階

天守3階には、窓がありません。これは3階が実質2階の屋根裏に相当するためです。天守は2㍍（※）15㌢と低く倉庫として使われていました。戦国時代の築造らしく戦闘を意識したしかけがある一方、美しい柱にも注目です。多くの柱には蟻状のはつり紋（※）が美しく浮かび削りの技として、均等な手斧（ちょうな）で削られています。

※はつり紋…はつりとは、木材を切り出すこと。はつり紋とは、はつりの際に残る線状の模様のことです。

玉田さん（大阪府出身）
信州大学大学院 総合人文社会科学研究科 修士2年

張り巡らされた工夫の数々

では、窓のない天守3階で、どのようにして明かりを取っていたのでしょうか。答えは千鳥破風です。三角形の小さな出窓のような部分があり、そこに備えた木連格子から自然光を取り入れています。織豊政権以降に天守が出現し、破風は天守や重要な櫓を通んで設けられるようになりました。松本城築城の少し後、慶長の築城ラッシュと呼ばれた時代に築かれた天守は、姫路城や彦根城などいずれも様々な破風で装飾されることとなります。

また松本城では、天井の板と板の隙間を隠すように細い板が張り巡らされていますが、3階ではその様子がよく観察できます。この板を目隠し板といいます。下の階から覗かれることを防止できる上、天井（真上の階では床）を強化する狙いもあったと考えられます。北東の隅は吹き抜けのゾーンがあり、実際に通し柱を見ることができます。まさに城の、外見には現れない工夫には圧倒されるばかりでした。

望楼型の松本城

田中さん（奈良県出身）
信州大学 農学部 2年

松本城の外観は一見5層で、2階屋根は寄棟で入母屋破風がなく上へ向かうにつれて建物が細くなる層塔のような造りです。しかし建物内部には屋根裏のような第3階が存在するため、実際には6層で構成されており望楼型に属するものです。この他に各階の天井の高さが違ったり、通し柱を多用した構造をもっています。

つまり松本城は、外観は層塔型のように見えますが実際は望楼型という、特徴的な構造を有しているのです。博嘉の世の緊迫感を肌で感じられます。

外から見えない階がある？ 松本城天守の内部に迫る

玉田さん（大阪府出身）
信州大学大学院 総合人文社会科学研究科 修士2年

城下町の名残

武家屋敷や馬小屋が存在した。◆松本城の入り口に向かって南から北に伸びる大名町通りがあるこの通りの起点、今は広場となっている場所には太手門と枡形があり、そこが松本城への入り口だった。枡形は敵襲の際に敵を集めておく場となる機能を持っていた。何気ない景色の中にあった歴史を知ると、それだけで日常の場所が違って見える◆そこから松本城の北東へ歩いていくと二の丸エリアの一角に北門がある。城郭と城下町を隔てて通行人を見張っている番所があり、ここには馬出しという、城郭の出入り口の前に堀を挟み設けられたスペースがある。北門の横には「北門大井戸」がこんこんと水をたたえている。これも城下町が明治時代になって埋め立てられた際できた井戸である◆そこから、閑静な住宅街を西進すると、かつての総堀の一部は井戸のある小さな公園になっていた。総堀を埋めたなかったのが、その部分が小さな窪地となっている。松本城の本丸を囲む堀の外側には、内外の境界であり、敵が容易に攻められないようバリアの役目を担っていた総堀があった。現在は大半が埋められてごく一部が残っているだけである◆松本城の北側に趣深い神社がある。元々は播磨国明石城内の新宮という社で戸田永兼を祀っていたが、後に鳴谷（ようこく）霊社に名を変え、松本藩主となった戸田光慈によって松本市の地に移された。現在鳴谷霊社には戸田永兼に加え、戸田宗光、一色義遠、城平康長、松姫を加えた計5人が祀られており、松本城の守護神として崇められている。◆明治維新以降、この地は、農商務省と東京物理学校に務めた後、松本城天守を憂いた小林有也が校長として松本へ赴任しました。松本城本丸が校舎として使用されていたことから、天守の管理は中学校が担うことになります。

たくさん歩きました
田中さん（奈良県出身）
信州大学 農学部 2年

しろあと

松本城は守だけでなく総堀に囲まれた範囲を含みます。今はビルや住宅が立ち並ぶ風景にかわっていますが、ふと立ち止まってみると、当時を偲ぶことができる様々な名残をうかがうことができました。学生2人が歩き記した「しろあと」

この二人を知らずして、松本城は語れない

通り過ぎないで！
吉澤せり子さん
松本市立博物館 学芸員

天守を守ったヒーロー 市川量造

市川量造

黒門をくぐると左に、二人の功績が記されたレリーフが来訪者を出迎えます。市川量造（1841～1908）です。明治維新以降、天守の重量を支えるための松本城の保存に貢献した人物です。

1872年、廃藩置県の後、櫓や櫓門、塀などの城郭の建築物は取り壊し払い下げが始まりました。天守も競売に付され3万5円で落札されたと伝えられています。その後、博覧会の開催許可を得ました。市川は、1873年から1876年までの間、博覧会を5回開催しました。江戸時代には市民は城の門をくぐることはできなかったが、この博覧会で一の存在となる、開催省の管轄となります。時を同じくして、市川量造が、国の調査の末、本丸と天守を会場として、博覧会の開催に導入されたものです。松本城を建てるための工夫と挑戦を示しています。

荒廃した天守 復活のために 小林有也

明治維新以降、この地は、農商務省と東京物理学校に務めた後、松本城天守を憂いた小林有也が、校長として赴任しました。松本城本丸が校舎として使用されていたことから、天守の管理は中学校が担うことになります。

明治維新以降、この地は、農商務省と東京物理学校に務めた後、松本城天守を憂いた小林有也が、校長として赴任しました。松本城本丸が校舎として使用されていたことから、天守の管理は中学校が担うことになります。

1885年、旧松本中学校（現・松本深志高等学校）が設置され、二の丸の南と西は校地となって、校長が小林有也です。小林は、農商務省と東京物理学校に務めた後、1886年に校長として赴任しました。松本城本丸が校舎として使用されていたことから、天守の管理は中学校が担うことになります。

明治維新以降、この地は、農商務省と東京物理学校に務めた後、松本城天守を憂いた小林は、農商務省と東京物理学校に務めた後、1886年に校長として赴任しました。松本城本丸が校舎として使用されていたことから、天守の管理は中学校が担うことになります。

小林の功績は、大きく、松本中学校の教育者として、学都松本の成長に貢献しました。

古墳時代の遺跡

平安時代の遺跡

鎌倉時代の遺跡

丸山さん（松本市出身）
松本大学総合経営学部1年

「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会とは

平成13年7月に松本城の「世界遺産」登録実現を目的として発足した組織です。現在71団体が加盟しています。私たちは先人が築き守ってきた国宝松本城をさらに世界の宝として世界遺産登録し、歴史的な史跡整備に積極的に取り組み、長く後世に引き継いでいきます。

「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会
公式ホームページ

松本城の日の詳しい内容はこちらのQRコードから

日指せ世界遺産登録 私たちも応援しています

松本古城会
松本商工会議所
JA松本ハイランド
キッセイ薬品
松本ユネスコ協会
NTPトヨタ信州
ザスナカ通信工業(株)
中部警備救助
TOMOEYA
松本ガス株式会社
松本土建株式会社
エム・エスティ
はやしや
デイリーはやしや
井上
アステック株式会社
松本市本町商店街振興組合
富士電機
セキスイハイム信越
サンリン株式会社
ノセメガネ
田中機器製作所
長野三菱電機機器販売株式会社
アルプスシャツ株式会社
中部電力パワーグリッド
富士コムテック株式会社
マクセルイズミ株式会社
郵便局
EIKO
滝澤写真館
信越報知
リニア電気工業株式会社
青木工務所
日本適合警備株式会社
マグナ
タカサワオート事業部
玉の湯
松本ホテル花月
株式会社田多井薬局
野村法律事務所
BeerFes SHINSHU
KAMIKOCHI 上高地自動車株式会社
中日本メディカルリンク株式会社
城西病院
三協電気工業株式会社
NSK
株式会社信甲設備
大手門法律事務所
SBC信越放送
松本リーリストホテル
本間川魚店
徳田医院
丸の内美術館
SGC
POWER K
たけや
ヨドバシカメラ
YUBUNE TOKYO
斎藤鉄螺株式会社
株式会社グリーンライフ
信濃毎日新聞松本専売所
NACNAC DESIGN
MGプレス
信濃毎日新聞